

○ 作文の「型」のお手本

《※学習塾まなびやさん用。無断転載禁止です》

(例:「読書の大切さ」について。配点を10点とする。)

- ① テーマや作文の背景(前おき)を短くまとめる。

《テーマの要約》

- ② 一言で(短く)自分の意見を書く。

《意見その① 根拠と合わせて配点3点》

- ③ 自分の意見の根拠を説明する。

- ④ 具体的な体験談・見聞きしたことを、「できる限り詳しく」書く。

《体験 配点4点》

- ⑤ ①で書いた自分の意見を少し加えて繰り返す。

- ⑥ 「これからの」について書く。

《意見その② 配点3点》

※ポイントは「④具体的な体験談」でふくらませる。

「②自分の意見」や「③根拠」を長く書かすぎると、「話の長いヤツだな…」と思われる。

《作文例》

① 私の学校では毎朝十五分間の読書タイムがあります。私の周りの大人たちも、私に「たくさん本を読みなさい。」と言います。

② 私は、読書はとても大切だと思います。(考えます、感じます)

ポイント

「〇〇は重要だ。大切だ」という書き方はどんな場合にも使えるので初心者向き。

③ なぜなら、読書は面白いだけでなく勉強にもなるからです。

ポイント

「なぜなら」で始めたら必ず「からです」と締める。主語と述語がねじれないようにー

最重要ポイント

「④具体的な体験談」を先に考えて、そこから「③自分の意見の根拠」を逆算して考えるのです。書きやすくなります。

この例文では、「漫画の小説を読むのは面白いだけじゃなくて勉強にもなった」という体験を先に考えて原稿用紙の端にメモを書いておき、そこから逆算して「なぜなら」の文を書きました。

④ 私は(誰が) 中学一年生の頃(いつ)から、朝読書の時間に(いつどこで)好きな漫画の小説を読み始め(何をして)ました。初めのうちはただ読んでいただけでしたが、だんだん分からない言葉を調べたり、本に出てきた知らない漢字を覚えたりするようになりました。(何をして)

すると文章を読むことが少しずつ得意になり、先月の国語のテストでは自己最高点を取ることができました(どうなったか)。面白いだけではなくて勉強にもなるなんて、読書は本当に役に立つんだな、と感じました(どう感じたか)。

ポイント

「誰が・いつ・どこで・何をして・どう感じたか」これが作文力の基本です。

試験官はあなたのことを知りません。だから自分にとっては当然のことでも、詳しく教えてあげるつもりで書きましょう。

そうすれば自然と原稿用紙が埋まっていきますよ 😊

⑤ この体験からも、読書は勉強が得意になるために大切だと思えます。

ポイント

の言葉が加えた部分です。

⑥ これからも、自分が面白そうだなと感じた本は積極的に読んでいきたいです。

ポイント

他にも

「高校生(大学生)になったら〇〇したい」とか

「私たちはこれから〇〇していくべきだ」などのパターンもあります。